

学校番号	2004
------	------

## 令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	硬筆書道	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

個々の書き癖を理解させ、美しく文字を書くために必要な目標を個々に立てさせてることで、丁寧で読みやすい文字を書く心情を育てる。  
文字の字形だけでなく文字の大きさや配置で印象が変わることを理解させる。授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現(書作の意図・書写技能)と鑑賞を並行して扱い評価については、各单元・授業毎の作品・ワークシート提出等でおこなう。

## 2 学習の到達目標

文字を美しく書きたいという欲求と心情を育てる。文字により文化が伝達・継承されてきたことを理解し、読みやすく美しい文字を書くことの必要性を学ぶ。縦書き、横書きなど様々な書式を使用する上で、文字の大きさや配置などバランスよく書くとは何かを考える。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	書が身近なものであることを実感し、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞ができる態度を育む。	書表現の諸要素を感じ、感性を働かせながら、書の創造的活動の喜びを味わい、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記具の特性を理解し、表現方法を選択し活用できるよう、様々な表現技能を習得する。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、その価値を考え、書のよさや美しさ、書の表現意図について創造的に鑑賞する。
評価方法	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学 期	单 元 (学習項目)	学習内容	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評 価 方 法
			a	b	c	d		
1 学 期	印象の良い文 字 の書き方	◆丁寧で読みやすい文 字を書く心情を育てる。 ◆紙面・マス目に対して の文字の大きさの学習 ◆ボールペンの用筆法	○		○		a : 丁寧で読みやすい文字を 書こうと意欲的・向上心を 持つ取り組んでいる。 c : 筆記具に応じた持ち方や 使用法を身に付け表してい る。	ワー ク シート 作品 観察
	漢字（楷書） の 学習	「部首別による学習」 ◆部首名の学習 ・部首ごとに結構法を学 習する。 ◆旧字体・異体字の知識 ◆紙面・マス目に対して の文字の大きさの学習  「横書き文章の学習」 ◆横書き文章のまとめ 方の学習 ・自分の名前や住所な どを中心に履歴書の制 作を行なう。		○		○	b : 文字を美しく書くための 方法の理解し、文字の大き さ・配置などを工夫してい る。  d : 他者の作品と自分の作品 とを比較し、共通の長所・ 短所を模索することで、配 置や結構法などバランスと は何かを考えその良さを味 わっている。	ワー ク シート 作品 観察
2 学 期	縦書き文章の 練習	◆はがき・封筒の表書き 書式 ◆縦書き文章のまとめ 方の学習 ・手紙文を題材に縦書き 文章のまとめ方を学習す る。 ・時候の挨拶など日本文 化としての手紙の書式を 学習する。	○	○			a : 丁寧で読みやすい文字を 書こうと意欲的に取り組も うとしている。 b : 文字を美しく書くための 方法の理解し、文字の大き さ・配置などを工夫してい る。	ワー ク シート 作品 観察
	行書による学 習①	◆自分の名前の楷書・行 書の違いを意識し書く。 ◆前単元を行書を扱い 学習する。	○			○	a : 新しい書体について関心 を持ち、意欲的に取り組ん でいる。  d : 楷書・行書の違い観察し、 表現に結びつけその良さを 味わっている。	ワー ク シート 作品 観察
	行書による学 習②	◆前項の内容をふまえ 筆ペンを使用し年賀状 や祝儀袋などの書き方を 学習する。		○	○		b : 行書の特徴をふまえ、文 字を美しく書くための方法の 理解し、文字の大きさ・配 置などを工夫している。	ワー ク シート 作品 観察

※令和3年度以前入学生用

					c:筆ペンを、効果的に使用する技能を身に付け表している。	
3 学 期	感謝状の作成	<p>◆卒業にあたり、筆ペンを使用し感謝状を作成する。</p> <p>◆賞状筆耕の書式・規範に従い制作する事で、文字の大きさ・太さ・配置などを工夫し、文書全体のバランス感覚を養う。</p>	○	○	<p>b:賞状制作時の規範に従い作成している。</p> <p>筆記具の違いを理解し、太さの違いと文字の大きさに変化をつけ、見やすく訴求力の高い作品を工夫して制作している。</p> <p>d:他者の作品と自分の作品とを比較し、長所・短所を模索することで配置や構造法・配置などバランスの良さを味わっている。</p>	ワークシート作品観察

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度  
c:技能

b:思考・判断・表現  
d:知識・理解

#### ※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けていく。